



平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

広島県
安芸太田町 長



今後の道路行政についての意見・提案の提出について
(回 答)

このことについて、別紙のとおり意見を記しましたので、その内容を今後の道路行政に反映いただくようお願いし、回答といたします。

道路財源について

道路特定財源一般財源化の方針は、道路財源の不足に悩む地方にとって大きな問題である。過去の道路事業に充当した起債の償還財源や日々の生活を支える除雪を含む道路維持の財源を確実に確保できるような施策を講じていただきたい。

地方の道路整備について

道路は生活環境に直結するものである。福祉政策・医療・あるいは危機管理を行うにも、すべてのことは道路から始まる。「都市部は人口・交通量が多いから十分な道路を多く整備するが、人口が少ない中山間地では、狭く未舗装の道路で良い。」とはならない。行政の責務としての多くの事柄を行うにあたって、最初の重要な社会基盤が道路である。このことから、基盤整備の遅れている地方にこそ十分な道路財源を措置していただきたい。

「3 桁国道」と呼ばれ「幹線国道」より低位な扱いをされている国道も、道州制など行政の広域化を考慮したときには、新たな視点からその価値を見直す必要があるのではないか。

地方道路の重要性については、国・県の考え方と地方との間に温度差があるように感じる。

道路維持事業のあり方について

いま既にある道路を大事に管理し、将来も使い続けていくことが、財政の厳しい今 必要なことであるとする。新しい道路を作ることに目を奪われ、現在の重要な財産である既設の道路をないがしろにすることがあってはならない。道路の維持修繕に国を挙げて目を向け、更なる財政措置を講じていただきたい。その上で、地方に対しても、財源措置をお願いしたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

広島県安芸太田町

○現状 本町は町土のほとんどが急峻な地形であり、一般国道などの広域道路には、老朽化している区間や災害時の安全性の面で整備が必要な箇所が多くある。 高齢化・過疎化の進行した地域が点在している。	○課題 道路自体の安全性を高める工夫が必要であるが、地形状況が悪いため莫大な費用を要する。また、その重要性について国や県と認識の差がある。 いわゆる「限界集落」を多く抱え、そのような地域に対して綿密な行政ケアを行う必要が生じている。
--	---

②ー2 地域の目指すべき将来像

一般国道等について、住民の生活圏拡大や観光地等へのアクセス、また、がけ崩れ等の災害の多い本町の実態を考慮した快適で安全な広域道路網の整備を促進する。

道州制など、国の将来の形を見据え、快適で安全な広域道路の整備を推進する。

地域に密着した道路の整備を行い、点在地域への綿密な行政ケアを行うとともに、医療・福祉の増進をはかり、危機管理体制を確立する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

広島県安芸太田町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○ その他
特記する事例なし	特記する事例なし	特記する事例なし	